

林檎

岩手Mac友の会

Vol.5, No.2 1993.5.29

Iwate Macintosh Funclub

総会にむけて

岩手Mac友の会 (IMF) の総会は、今回で第6回目になります。1988年の末広がりの方に設立したせいでしょうか、会員だけは増えてきています。会に対する期待がどんどん増しているという感じがします。

さて、前回の総会から一年間を振り返ってみましょう。

ビギナー分科会

総会で西島さんが発案した「ビギナー分科会」は、約10名の参加希望者があり、木村栄子さんが会場を提供して発足しました。しかし、いざ活動してみると参加者が少なく、ジリ貧になってきています。これは、内容が充実していないのか、会場の場所が分からないのか、その原因が不明です。木村さんは、毎回会場を提供してこられましたので、この分科会の存続を憂えています。そこで、当面は閉鎖して、例会の中に、「ビギナー相談窓口」開設することにしたと思っています。ベテランの協力をお願いします。

例会

ここ一年は、毎月第3土曜日に中央公民館を会場に開催して来ましたが、その内容は参加者にとって実りの多いものだったのでしょうか？ここでも「受け身」の参加者が多くなって

きている感じがします。皆さんはマックを用意するのは主催者だと思いませんか？

MMM

今では恒例となった Meet the Mac in Morioka ですが、昨年は徳富さんが実行委員長として、会場の手配など活躍していただいたおかげで、大成功をおさめました。(会報で紹介されています) 今回初の試みであった、応用技術研究会は、本当にためになるものでした。このような発表の場が、IMFの活動に最も必要なものかもしれません。また、自ら進んで、MMMの会場にいち早く駆けつけ電源工事をして頂いた、齋藤さんのような影の協力者が有ったことも嬉しいことでした。

これからの活動

この会は、何かを与えてくれる処ではありません。参加者が自ら求めて活動しない限り、会からは何も得られないのです。マック関連情報が交換できる場が欲しいと思った人達が、自分たちでこの会を設立し、月に一度でいいから集まりを持ちたいと思った人達が、例会を発足させ、会報が必要だと感じた人達が、自分で会報を創って来ました。スタッフは全てヴォランティアで、手弁当で会の運営に当たっています。会費を払ったが、何も得ることが出来ないという不満の有る方、是非自分か

ら求める行動を起こして下さい。それが会を活発にするエネルギー源となるのですから。

かのケネディ大統領が就任演説の中で「国があなた方に何が出来るかを考えるのではなく、あなた方が国のために何が出来るかを考えるのだ!」と述べています。クリントンさんもこれを真似た演説をしました。私たちスタッフ共々、自分がIMFの為に何が出来るかを考え、実行することが、今こそ必要なのです。



Inside

私は Apple を信じています ---2
山の花 -----4
英文コラム -----5
私の MacLife -----6
茶房 -----8
林檎ギャラリー -----10
編集後記 -----11
会員名簿 -----11
掲示板 -----12

APPLEはユーザーのモラルを信じているそうです。

さて、私たちユーザーはAPPLEのモラルを.....。

© 90: 90NOMURA 93.03.24 13:13

私はAppleを信じています.Nomura
信じています.....

私はAppleを信じています。コンピュータメーカーの勝手な方針変更によってユーザーが受ける損害は、年間100億ドル(?)にもものぼっています。メーカーの方針を勝手に変えてユーザーを裏切っていることを全く認識していない人さえいるのです。システムソフトウェアの無償配布を突然やめたり、HyperCardを有料化したりすることが、個人ユーザーに対してどれだけ負担を強いることになるのか知らないためです。こうした行為はささいなことのように思われるかもしれませんが、こうした方針変更によってユーザーの受ける損害は、年間100億ドルと勝手に推定します。例えば、1986年にMacintosh Plusが発表されたとき、648,000円という定価は個人で買うのには結構勇気の要る額でしたが、従来Apple社が伝統的に行ってきたアップグレード制度を信じて、決して無駄な投資にならないとの確信のもとに購入を決意したものでした。しかし、現実にはすぐにMacintosh SEが発表され、Plusからのアップグレードの望みは完全に打ち消されてしまいました。このMacintosh SEも、SE/30でシリーズを完結し、新たなClassicシリーズに転向されました。オール・イン・ワンのモデルは、もはやアップグレードのサービスは事実上受けられないものになってしまいました。最近起こった極端な例では、Macintosh vi/vx発表3ヶ月でMacintosh Centrisを発表したことです。しかもアップグレードは「検討中」とのこと。vxを注文はしたものの、品薄で手元に届かないうちに飛び込んできたこの「訃報」とも

私はAPPLEを

いえるニュースに途方に暮れたのは発注した本人だけでなく販売店の中にも多数存在したであろうことは、容易に想像できる。もっと、しっかりした製品開発計画を持った製品のリリースを行って欲しいものである。これでは、他のコンピュータ・メーカーの動きに踊らされているとしか考えられない。かつての毅然としたポリシーを感じさせ、やっぱりアップルは他と違って素晴らしいものを出してくると感心させられたころのアップル社が懐かしい。良いコンピュータとはどんなものか自分で判断できないような消費者にまで、媚を売るような低価格戦略は、昔のアップルを知る者として、情け無くすら感じる。低価格のハードを提供するというそのものを批判する気は毛頭無い。しかしそのために既存ユーザーに対するサービスが低下するのであれば、別の話しである。しかし、System7から見放され、新しい人にはくすんだ色としか映らない、今では鈍足なマシンとなったMacintosh Plusをいまだに現役で使っている私から見れば、それでもExcelの最新バージョンは動くし、Mac WORDで縦書きのイ

ンラインもできることだけでも、他メーカーのマシンでは考えられないことのように思われます。きっとアップルは他に迎合などせず独自の路線をユーザーと共に反映することでありましよう！野村行憲

© 88: 90MAC034 93.03.27 17:14

私はAppleを信じています？

はくのアップルとの付き合いはApple IIにまでさかのぼる。みんなでApple IIやらPETやらコモドールやらをうらやましそうに眺め、日本製はと言えばTK-80とかL-kit(だったかな)とかのワンボードマイコンがかるうじてある程度だった。その後、MZ-80シリーズやPC-8001シリーズを経て国産マシンも急成長していき、Apple IIIをこけさせたアップルはApple II e, Apple IIcと発表したもののマシンスペックでは国産に及ばなくなっていった。それでもぼくはNEC(に代表される国内メーカー)よりもアップルが好きだった。その理由は、1.旧型機種からのアップグレードができる。2.テレビや冷蔵庫のモデルチェンジのような頻繁な新機種発表がない。だからソフトメーカーも現行機

信じています!!??

種の性能を活かし切ったアプリを作れる。(ハードのスペックで国産マシンに見劣りするApple IIが、ことソフトの性能では極めて高い評価を受けていたのはそういう事情がある)3.Personal Computer (パソコンという言い方はほんとは好きではない) というものに対する未来や哲学を感じさせてくれる。最近のアップルを見てみると、ほくが好きだった部分のどのくらいが残っているだろう。今のアップルは、ほくにとっては、使いやすいインターフェイスを提供してくれる一パソコンメーカーに過ぎない。可処分所得があまり大きくないので、たまたま今持っているマシンをできるだけ長持ちさせようとするだろうけれど、それがアップルというメーカーへの愛着なのか単なるふところ事情なのか自分でも自信がなくなっている。いくつか仮定を積み重ねるとすれば、手元に余裕資金があって、Windowsが今のMacOS並みに使いやすくなって、どこかのメーカーがMSDOSではなくてWindowsを走らせることを想定したビットマップマシンを出したとしたら、ほくはそれを買うだろう。なぜなら、りんごマークにも

Macという名前にもこだわらないとすれば、そのマシンはMacと同じといえるから。十二単(ひとえ)のような気持の一番下では、アップルにこんな風になってもらいたくない、まつぞののやまもとでした。

◎ 84: 90MAC119 93.03.31 21:06

私はアップルを信じています。(私はアップルを信じています。)アップルはもともとパーソナルコンピュータを目指していたのですから(そうらしい)使う人に優しい(他のものに比べて)コンピュータを作ってきたように思います。今ワープロ専用機の普及がもたらした、漢字人任せ現象、現金の支払を専用機にまかせて生まれたカード破産(分かる?)など、末端の人からどんどん判断や決断、思考の機会を失わせている現在の電子技術の世界にあって、マックはどんどん思考を進め、助けてくれるコンピュータになっているように思います。まずその辺に期待しています。ユーザーにプレッシャーを与えない環境作りをしてくれるものと信じていますよ。それから、アップルは(アメリ

カでは)教育関係に力を入れているようです。日本でも単なるローカライズにとどまらず、日本にこそ必要な創造性を伸長する”教具”の一つとして、ソフトとともに開発支援してしてくれるものと信じていますよ。10年20年後を見定め、世界中の子供たちのためにもアップルにはがんばってほしいなあ。以上まとまりませんが、罇沢の佐藤でした。

◎ 82: 90MAC015 93.04.02 07:15 私はAppleを信じています。徳富DuoもカラーもいらぬからPB100のCPUをもう少しパワーアップしてくれると。「こんなんでましたけど〜!」って言ってるみたいなお新製品発表をやめて、「お待たせしました、これがAppleの自信作です!」という、ソフト的ハード的に信頼性が高く、頑丈で動作も安定しており、2,3年経っても色褪せない価値を持てるような新製品を発表してくれると。クリントン政策にうまく乗り、IBMを突き放し安定した業績をあげ、株価を実績で押し戻してくれると。Macintosh512Kから始まったAppleへの長年にわたる欲求不満がPB100を得た時点で一応解消されてしまっているため、まだSystem7を使いたいという欲求が沸いてこない徳富でした。

◎ 60: 90MAC015 93.04.10 11:15

私はAppleを信じています。追伸SE/40を出してくれ、SE/30からアップグレードしてくれると。以上

ところで最近、改めて新製品のカタログを見ていて、PB180とPB165cを眼に止め、そのあまりの変化に驚くと共に、PB180を買ってしまった人に対して追悼の意を禁じえません。前回の新製品発表はAppleの歴史に残る汚点として肝に命じ、二度と繰り返して欲しくない徳富でした。





山の花

佐藤護人

昨年の6月ユキワリコザクラを見たくて水沢の近くの焼石岳に登りました。途中の「中沼」で水の中から高さ30cmほどの白い可愛らしい花を見つけ、とりあえず何枚かシャッターを切りました。その後、八幡平の頂上付近の湿原でも出会い本を見ているうちにミツガシワであることがわかりました。

今年もユキワリコザクラに会いに行きたいと思っていますが、長い雪渓を幾つか横切り、かなりハードな行程を登りきれるか、そして下山出来るか一抹の不安がよぎります。同じサクラソウの仲間である岩木山にミチノコザクラが有ります。去年から今年の6月に岩木山に行く計画をたて、ユキワリコザクラより大きいミチノコザクラに会えるのを楽しみにしております。



ミツガシワ



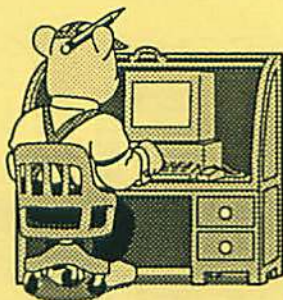
お詫び
前号の表題及び文中のハクサンイチゲはハクサンチドリとの誤りでした。気の緩みが有ったと深く反省しております。謹んでお詫びして訂正します。



Mount Image Is A Time Saver

生英語!!

By ロジャー



Most of you probably weren't born at the time, but I'm sure you know that almost 50 years ago American soldiers had several camps in Iwate. In April two former American soldiers who were stationed in Morioka after the war came to revisit Iwate. I was asked to go along and help interpret.

On their tour we went to the Morioka Chuo Kominkan, the same place that we have our Mac meetings. Did you know that about 48 years ago the Chuo Kominkan was used as the officer's club (bar/hangout) for the American troops? I was really surprised.

We also went to O-shimizu-tana (ryotei) near Toyama Hospital in Babacho, Morioka. I had never seen that restaurant. Wow, it's really impressive. It made me think of Kyoto. The restaurant was like my dream image of Japan before I came here.

But now that I work in the Kencho, my impression of Japan is the picture of a lot of people working overtime with Fujitsu Oasis computers at their desk. That's a funny word "Oasis." It means Office Automation Systems to many workers at the Kencho. I guess it makes people feel they are automatic. It's a very popular wapro in this dark Kencho cave. In Japanese, "Oasis" has a good meaning. But in English it has a different meaning. To me, it means "oasis." Do you know what an "oasis" is? It's a place in the middle of a desert with some greenery and water. Like an

island in the ocean. It has a very lonely meaning.

Offices are very different in America. I think every company in America and most companies in (western) Europe have computer networks and e-mail in their offices. Everyone is connected through these networks. Networks are very practical for company communication and efficiency. Anyway, I'm critical of the "Oasis islands" in the Kencho. It's not very efficient. What everyone needs here is a Mac network with some fast servers.

I'll share some gossip with you. I've noticed in Iwate that many people are interested in MO technology, especially 128 MB storage. But I'm sure you know that MOs are very slow. In the States, almost all professional Mac users have at least one 44 MB SyQuest drive. SyQuest drives are really fast and they are also inexpensive. Just recently, SyQuest has come out with inexpensive removable 3.5 inch 108 MB drives. According to my colleagues in America everyone is excited about the new SyQuest drives and aren't interested in the MO drives at all.

Some of you have been showing me some interesting Japanese Mac software tips. Thanks. Maybe you know

this one already, but I've got a tip for you, too.

I've been installing some new software lately and I've found that the free-ware cdev Mount Image is a real time saver. The shareware cdev creates software versions of floppy disk drives, so you can have up to eight floppies mounted at once, even though you only have one floppy disk drive. Programs are getting bigger and installer disk sets are increasing their number of installer disks.

In one time-saving method you can use Mount Image to create a single software floppy disk and copy the Installer Disk 1 from your software onto it. If you use the software floppy instead of the real floppy you can really speed up the installation process of the whole installer disk set.

A second method is to copy all of the installer disks onto Mount Image software floppies, for example, seven floppies. If you click on the Disk 1 installer software floppy, you may find that a regular fifteen minute installation can be done in just two minutes. It can be a real time saver. You should try it!



私の

Mac Life

2nd

by 徳富亘

40歳を来年に控え、私のMacLifeは名実ともに中年の域に入ってきたように思います。はた目には、進歩的でなくなり、頑固で保守的とさえ言えるかもしれませんね。

それは9年前

さて、私がMacintoshに巡り合ったのは、今から9年前のことです。

発売されていたMacは128Kと512Kの2種類だけで、しかも日本語を扱えるのはRAM容量の大きい512Kだけでした。現金正価は、798,000万円でした。勿論現金正価で買ったりはしていませんが、それでも10MBのハードディスクドライブが100万円以上していた壁のような時代でした。暫くしてMacPlusが発表された時、約10万で512KからPlusにするバージョンアップサービスが受けられたのですが、国産メーカーを選んでなくて本当によかったと喜んだものでした。国産メーカーにはバージョンアップなんていうサービスは全くありませんでしたから。

Macは高級高性能な文房具

自分は、もともと濃淡があって輪郭のはっきりしない鉛筆の線よりも、黒インクで引いた線が好きでした。白地

に黒文字のMacの画面は、まさに黒インクの世界でありながら、インクと違って修正が容易で、その上何度でも修正できるだけで夢のようでした。

当時Macに付属してきた、MacWriteとMacPaintも操作が簡単なのに、文字の大きさが簡単に換えられるばかりでなく、自体も変えられ、しかもそれが画面でいつでも確認できるなんていうのは、今でこそ当たり前ですが、当時としては大変高度な機能でしたし、さらにワープロの中に絵が張り込めてしまうのには本当に驚かされたもので

す。

というわけで、超高級な文房具のつもりで購入したMacでしたが、文房具としてばかりでなく、Excelの前身であるMicroSoft MultiPlanの使いやすくて大変高度な計算機能にも随分助けられました。

また薬理学会関東部会の当番校になった時には、Macのお陰でほとんどひとりで事務局の仕事をこなし、通常赤字で開催される学会を、百万円以上の黒字残して遂行することができ、その頃から周囲からMacの能力が認知さ



Mac 512K のパンフレットから

れるようになり、現在母校の研究室には多くのMacが活躍しています。

アクセラレーターにアセル(^_^)

Macが本当に凄いなあと思ったのは、Prodigy4というアクセラレーターの登場でした。自分が、大学を卒業して大学院に入った頃の夢の高嶺の花というべきDEC社の2000万円くらいだったVAXという図体の大きな高性能コンピュータと同等の性能が120万円位で自分の小さなMacの中に収めてしまうことが出来るという代物でした。

そういう凄い部品がサードパーティーから発売されるというMacを取り巻くアメリカの環境の力強さにも大変驚いたものです。

これは半額まで下がった時点で購入しましたが、その性能は、今でも十分現役として通用する程素晴らしいもので、治療室の診療椅子の傍に据え付け、毎日使っています。

現在のMacLife

ワープロ機能を使った、文章書きやメモ、そしてIllustratorやPaint系ソフトによる描画と、それらを統合するというMacならではの機能を進化させたデスクトップパブリッシングによる、「林檎」などの小冊子の作製や、技工指示書、紹介状や手紙を書くのに使っています。

また、Excelによる経営管理もなくてはならないものであり、従業員の歩合計算や、時間外勤務計算、青色申告もこれでやっています。その時点での総売上や、収入、そして確定申告納税額まですぐにわかるので、設備投資の時期や予算などについても的確な判断が下しやすくて本当に助かります。

今後のMacLife

今年は新しいMac利用法として、旧式のレジスターに替えて、領収書発行などの受付窓口業務の一部もMacで行



治療室に据え付けたMacの前で

なうつもりでいます。また、同業有志と協力して保険請求業務もMacで行えるようにしてみたいと思っています。

また、Macの優れたプレゼンテーション能力を患者さんとのコミュニケーションに役立てたいとも思っています。

こうして色々挙げてきましたが、私にとって現在必要なMacの機能はすべて白黒ですむことばかりなので、未だにカラーの世界に手を染めていませんし、Systemも6.0.7.1のままです。

低価格化を楽しもう

Macを使うと便利になる局面を日常の中で探し続けていると、新たにMacを購入する必要が生じて来ることがあります。そんなとき、どんどん進みつつあるMacの高機能低価格化によって、Macの新規購入が低予算で済むということは、本当に歓迎すべきことだと思います。それをいつまでも嘆いたり憤慨していいないで、次のMacを安く買えしまう事の喜びを味わいたい

と思います。

Macから得たもの

今までMacを使ってきて本当によかったことは、大好きなMacのことを心行くまで語り合えるIMFのみんなと知り合えたことです。さらにまた、盛り上がりたり嘆いたりしながら今日まで不出来な編集長を支え、励ましてくれ、「林檎」を作ってくれた世話人会編集委員のみんなと知り合えたことは、これまでMacに費やしたお金や時間に代えられない私の財産です。

というわけで、皆さん自分がSystem7に移った時にはご指導宜しくお願いいたします。(^^)

またこの度、快く「林檎」の編集長を引受てくださった高橋さんに心から感謝申し上げますと共に、今後の会員相互の益々密な連絡を願って、間違っても個人輸入してしまった2400ボアのモデムの有効利用法をIMFの皆さんにお考えいただきたいと思っています。



Fishing Alley

by S. Saitou

春うららか

日一日とそよぐ風に春を感じる季節、雪消えの日溜りの中で煌く陽光に抱かれ、萌黄色のふっくらした蕾を恥じらうように咲かせるふきのとうは春の訪れを知らせる自然からの贈り物だろうか。

まだ枯草の風景の中、ネコヤナギだけがちょっと誇らしげにうぶげをそよがせ、水辺に跳ねる光が春の風となって走る。

どっひゃー! いきなり格調高い、と言うよりはいかにもクサイ美文で始まってしまった。

こういう腕力のいる文章は、128バイトが限度だ。ハーハー、ゼーゼーマックも昔は128kだった。関係ないか。私の脳は春うららか。

マックと釣りと私の関係

実は、私は釣りキチガイです。

いろんな釣りをひととおりやってみただけど、今は春の山女魚釣りと夏の鮎釣りが最高です。

マッキントッシュと釣りとの間にはいったいいかなる関係が有るのか無いのか、話しの展開が全く予想出来ない。

山女魚と岩魚

渓流釣りというと、一般に山女魚釣りと岩魚釣りの両方を指す。もちろん、両方をわけへだてなく釣っている人も多いが、こだわりの人もいます。

私は山女魚にこだわる。従って、岩魚には若干の偏見と差別を持っていることをあらかじめ断っておく。

岩魚派は、岩魚という魚そのものよりフィールドにこだわる人が多いのではなからうか。

源流域の自然環境に魅せられる気持ちは私にもよく解る。源流志向が岩魚を釣らせると言った方がいいかもしれない。

一方、山女魚派は魚にこだわる。魚の品格としては山女魚の方が断然上だ。これはあきらかに私の個人的な偏見と差別に論拠を根差したものだから、反論の余地はない。

山女魚という魚がどれほど素晴らしいかを説明しようとするれば、それだけで10ページはくだらない。編集長を困らせることになるので、割愛する。

山女魚は美しい

ロゴマークに描いてある魚がいちおう山女魚のつもり。

私が初めてイラストレーターで描いた絵で、しかも本人はなかなかの力作と思っているの、決して“へた”とか“似てない”などとか言わないように。

絵に描いてあるとおり、体側に小判型の斑紋があるのが特徴だ。

パーマークといって、日本語に訳すと幼魚斑というのだそう。鱒の仲間の幼魚にはよくみられる特徴だそうで私たちが普段食べているあの塩鮭にも幼魚時代はパーマークがある。

しかし、ほとんどの鱒類は、普通、成長するとパーマークが無くなるのだが、山女魚だけはパーマークを残したまま成魚になってしまう。

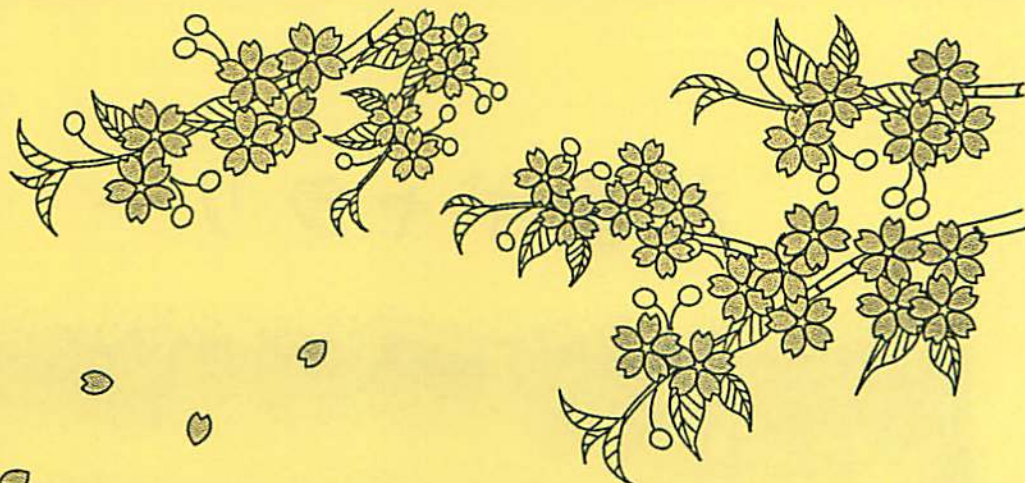
そのわけを説明しようとする、遥か太古、氷河期まで遡って説明しなければならない。それだけで、50ページ位は軽くいってしまいそう。編集長の怒りをこうむりそうなので、割愛する。

釣りの対象魚は星の数ほどあるが、味、姿、釣り味と、三拍子揃った魚と言うものは、案外少ない。

私の知る限りでは、海の黒鯛と、清流の鮎、そして渓流の山女魚ぐらいではないだろうか。

私の渓流釣りは、友人の岩魚釣りに付き合わされたのが始まりだが、その





うち、たまたまぐれで、15センチ
ぐらいの山女魚を釣ってしまったのが
運の尽きとなってしまった。

そのシャープな引き味。そしてその
姿の美しさ、それはまさに、まだあど
けない面影を残した少女の艶やかな肢
体が……おっとあぶない。私はロ
リコンでは無い。が、いや別に嫌い
と言うわけでも……じゃあなくて、
ええっと、よ、要するに何を言いた
いのかというと山女魚は美しいとい
うはなしだ。

梅の花咲きて散りなば桜花……

7ハ……

山女魚は美味しい!

うんまい!

これ以上表現のしようがない。

1尾食べる毎に1年づつ長生きするよ
うな気がする。

それで計算すると、私は512歳まで
生きることになっている。

そう言えば、512kMACってのも
あった。

釣りは旅だす

何故、かくも夢中になってしまうの
か。自分でも呆れてしまうことがあ
る。

しかし、よく考えてみれば、山女魚
を釣るためにだけ山女魚釣りをしてい
るのではないことに気がつく。

探釣という言葉がある。読んで字の
ごとし、釣り探ると言うことだが「探
る」とは、つまり「旅」に通じる。山
女魚釣りには、多分に旅の要素があ
る。

マクロ的に言えば、釣り場に着くま
でが旅だ。ここにはどんな山女魚が私
を待っているのだろうか、私の誘いに
乗ってきてくれるだろうかなどと、さ
まざまに思いを巡らせ、期待にわくわ
く胸踊らせながら初めて訪れる地の
山々や木々の間を通りすぎる時間がた
まらなくいい。

ミクロ的に言えば、溪に入ってから
も小さな旅の連続だ。一步廻行するご
とに新しい風景にめぐりあう。

一生忘れ得ぬような鮮烈な風景を
数々体験した。そして、その風景のな

かに自分がいるということがいっそ
う、感動を深いものにしてくれる。

春の情景に…

渓流釣りは、岩手では3月1日から解
禁になる。まだ解禁の時期はたいして
面白い釣りにならないので、初釣行と
称してじつは春を漁りに行くだけなの
だが。ん? ちょっと誤解を受けるよ
うな表現になってしまった。け、決し
ていかがわしい意味では無く、叙情
的な意味での春を…ううう、言い訳を
すればするほど泥沼に……自分で勝手に
自滅してしまった。

山女魚釣りの最盛期は、桜の花の咲
く頃から、藤の花の終わる頃までだろ
うか。雪代水に洗われて、ぴかぴか
になった川から、飛び切り元気な山女
魚たちが、今年も私の竿を幾度も絞っ
てくれることだろう。

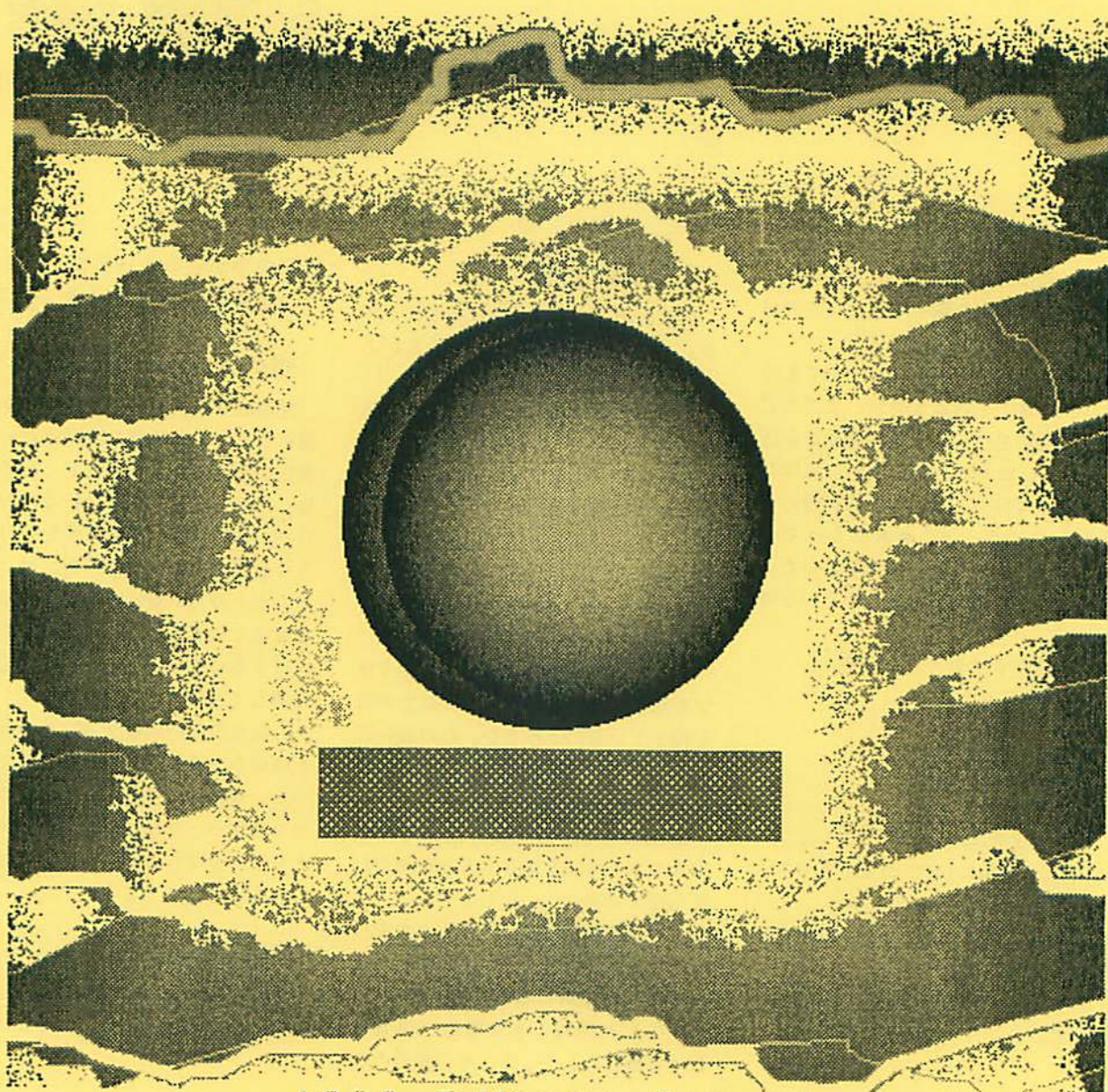
山菜の話

を書こうと思ったらもう余りがない
のでまたまた割愛する。

文・編集 斎藤 秀一



林檎ギャラリー



1993-5 Masao. Segawa

by瀬川昌男

編集後記



今回もまた、編集委員の皆さんのお陰で「林檎」26号が発行できました。有難うございました。次号から高橋さんに、皆で協力していきましょう！

徳富



今回は私の出る幕は全くありませんでした。斉藤さんの才能に脱帽！来月は山菜の話ですね。楽しみにしてまーす。

遠山



ヒマラヤのブルーポピーを奥中山の生産者から分けてもらったので次号に載せたいと思います。但し山の花のページが残っていれば。

佐藤



久し振りに編集会議に出てみました。次号は編集も担当して見ようかな・・・

照井



印刷までもう一息総会でお会いしましょう。

杉村

編集担当もないのに編集会議に出て遊んでしまいました。今度はDuoを使って編集してみようかな...

工藤



私も久々に編集会議に出てきました。これからは、必ずでなければいけなくなりそうです。プレッシャーを感じるなー。

高橋



MVP

最後の最後までずれこみました。年度初に雑務と編集の両方はつらい。

編集長から解放された徳富さんのアイコンがどことなく微笑んでいるように感じられるなあ。

佐々木

会員名簿

青山真紀子	盛岡市	瀬川昌男	盛岡市
浅田昌稔	北上市	関口厚光	盛岡市
浅野惠治	仙台市	平靖	盛岡市
安保淳一	盛岡市	高島浩一郎	盛岡市
池田学	久慈市	高橋和良	盛岡市
石田宏	盛岡市	高橋晃	盛岡市
伊藤光司	花巻市	高橋浩幸	盛岡市
井上督	盛岡市	高橋真知子	盛岡市
遠藤幹也	盛岡市	武元伸次	盛岡市
大河原清	盛岡市	田辺忠輝	盛岡市
大塚英幸	盛岡市	谷口和美	盛岡市
冲野覚	二戸市	田村真智子	盛岡市
小野寺世利子	宮城県本吉町	千葉雅之	盛岡市
小野寺雄大	陸前高田市	塚野弘明	盛岡市
加瀬谷明	花巻市	妻野万里子	盛岡市
桂川茂彦	盛岡市	寺田明功	弘前市
金浜誠己	二戸市	照井芳夫人	花巻市
兼平信一	盛岡市	遠山明人	盛岡市
鎌田五百枝	盛岡市	徳富巨	花巻市
神達宏	盛岡市	苦米地怜	八戸市
上山輝一	盛岡市	豊間根道子	盛岡市
菅野研一	宮古市	中居賢司	盛岡市
木村栄子	盛岡市	永澤幸雄	盛岡市
工藤聡	滝沢村	長土居正弘	盛岡市
工藤悦也	盛岡市	中村純子	盛岡市
熊谷朋也	盛岡市	西村良行	盛岡市
河野孝磨	久慈市	根本光彦	札幌市
小松寿夫	北上市	野村行憲	盛岡市
近藤英一	紫波町	深沢健次	盛岡市
斎藤秀一	盛岡市	福藤義樹	盛岡市
佐々木明宏	盛岡市	藤田直洋	盛岡市
佐々木幸司	盛岡市	藤村洋	盛岡市
佐々木健	岩泉町	米谷則美	盛岡市
佐々木治男	矢巾町	三浦利章	浄法寺町
佐々木光夫	大槌町	三浦吉範	盛岡市
佐々木吉則	盛岡市	宮本義裕	矢巾町
佐藤顕子	仙台市	村上宏文	盛岡市
佐藤雅学	盛岡市	村上弘行	盛岡市
佐藤護人	盛岡市	村川寿	柏市
波谷芳三	盛岡市	望月善次	盛岡市
鳥貫和弘	新潟県	本館康司	花巻市
白石隆	盛岡市	森貞吉	盛岡市
菅原健藏	盛岡市	八重樫祐成	盛岡市
菅原忠雄	花巻市	山本淳	盛岡市
杉村栄一	盛岡市	横田喜安	盛岡市
杉村峰秀	花巻市	横手登	盛岡市
鈴木卓	石鳥谷町	吉田新二	盛岡市
鈴木裕之	盛岡市	渡辺浩志	能代市

例会案内

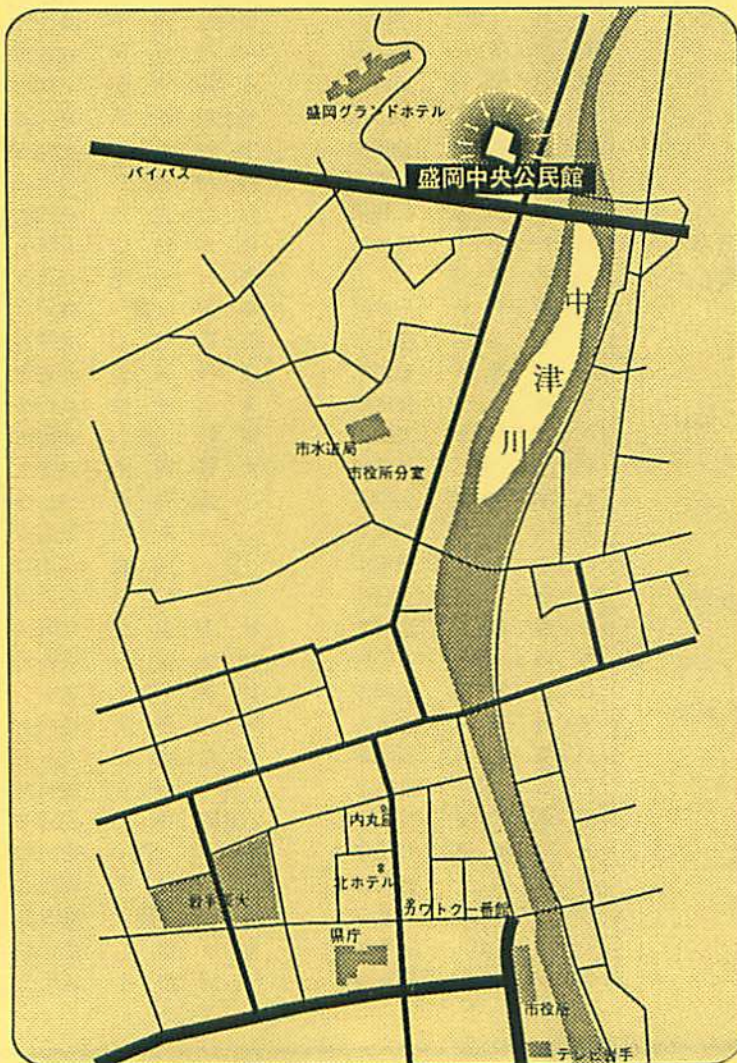
6月19日(土)
14:00 開場
15:00 例会
17:30 解散

場所: 盛岡市中央公民館



例会の後で、場所を変えて編集会議を行います。

お時間のある方
ご一緒しませんか?



「林檎」26号は...

ASLTalk	ByWord
Color Magician	EG-Bridge
EG-Word	Freehand
HyperTerm	Illustrator
MacPaint	MacVJE
MacWrite	NinjaTerm
NISUS	PageMaker
PhotoShop	SoloWiter
StreamLine	SuperPaint

等で作ったものをPageMaker でまとめLaserWriter, Microline でプリントしました。

「林檎」第26号 1993/5/29

編集長 徳富 亘

発行 岩手Mac友の会

代表者 野村行憲

020-01盛岡市北松園 3-34-2

非売品